



しまねと海と神話の物語 in 神在月

～小学生ライタープロジェクト～



海を守る活動「海と日本プロジェクト」とは

地球の面積の約7割を占める海。私たちの生活とも深い関わりのある海が今、危機にひんしています。海洋生物の乱獲、それによる生態系のバランスの崩壊。海の酸性化。気候変動や自然災害。海底資源の開発競争、海洋権益をめぐる争いなど…。この海の上の問題を招いて

いるのは私たち人間なのです。こうした中、日本財団、国土交通省、総合海洋政策本部(日本政府)が「海と日本プロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトでは参加する人々の主体的な海の理解と行動を誘発するアクションを全国的に展開しています。



海を身体を使って表現する「うみダンス」



海をきれいに!「海の日全国一斉アクション 海でつながるゴミ拾い」



海を味わおう「日本さばけるプロジェクト」

しまねと海と神話の物語 ～小学生ライタープロジェクト～

2017年11月19日(日)島根県出雲市にて海と日本プロジェクト inしまね実行委員会の主催する「しまねと海と神話の物語 ～小学生ライタープロジェクト～」が開催されました。地元の小学生がテレビや新聞の記者となって、島根の海の現状を取材し伝

えます。島根県内の海洋環境や海に関する歴史や文化などを幅広く取材するフリーライターの原聡子氏を講師に、記者としての取材方法や、伝えるために必要な技術を学びながら出雲市内で取材を行いました。



出雲神話に強い繋がりを持ち、神話の舞台ともなっている出雲市「稲佐の浜」

「国譲り神話」は高天原(天上)の神々の国を治めていたアマテラスオミカミという神様が遣いをよこし、出雲の国を治めていたオクニヌシノオカミという神様に国を譲るよう交渉を行ったという神話です。稲佐の浜には神々が国譲りの話の際に投げた岩や、交渉が行われたという屏風岩が残っています。稲佐の浜では現代でも古代出雲神話のロマンを感じる事ができます。

取材したのは古代出雲歴史博物館。古代からの島根県の歴史を現代に伝える施設です。ここでは、「国引き神話」はその昔八束水臣津野命(やつかみずおみづぬのみこと)が出雲国を大きな国にしようと遠く沖合の土地を大きな綱で結びつけ引き寄せ、国土を大きくしたという神話です。その引いた綱が「菌の長浜」(出雲市西部の海岸線)と「夜見島」(鳥取県の弓ヶ浜半島)になり、つなぎ止めた杭が、佐比売山(三瓶山)と火神岳(大山)だと言われています。その国引き神話の跡を見渡すことができるのが出雲市にある稲佐の浜です。

神話の時代から続くしまねの海

今年も御愛顧ありがとうございました。

来年も変わらぬお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

【平成31年】成人式の御支度予約開始

セット 着付け メイク

◇ 大晦日まで営業いたします。

◇ 年始は4日から営業いたします。



☎0120-610-215 (ご予約も受付可)

〒690-0001 島根県松江市東朝日町151-49

受付時間/カット 9:30~19:00 カラー・パーマ 9:30~18:00

【定休日/毎週火曜・第3月曜】

各種クレジットカードもご利用いただけます。 ※詳しくはお尋ねくださいませ。

www.rote-hair.com



AM10:00

PM16:00

「ヒートショック・ゼロ社会の実現」を目指す百年の家が、「島根の寒さと地震を考えるイベント」をイオン松江で開催。寒い冬にガマンして暮らす島根の皆様へ、効果的な暖房の仕方や超省エネ・高耐震な家づくりの情報が満載。タイトレンジャーも登場して、冬の寒さから家族を守る必殺技が炸裂します。

ヒートショッカーをやっつけろ!



Hit the heat shocker

寒さを我慢して暮らす島根県民に、悪の総帥「ヒートショッカー」の魔の手が襲い掛かる。「タイトレンジャー」は島根県民の家族の健康を守るか!!

2018/1月27日(土)

会場 イオン松江ショッピングセンター 新館 1F 吹き抜け広場

【主催】

いずも百年の家project

【お問い合わせ先】

上代工務店 錦織建設 TEL0854-43-2651 TEL0854-43-2423